

参加者アンケートより

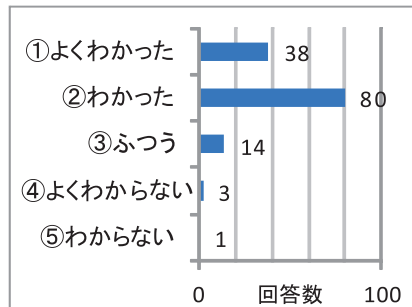
アンケート対象者 159人

〔内訳 民間保育園 101人
公立保育所 58人〕

アンケート回答数 136人 回答率 86%

【平成26年度 報告会、研修に関して】

(1)報告会(講演、公開保育報告、ドキュメンテーション報告等)について



※自由表記については抜粋

<①の理由>

◇事例をあげて説明していただき、理解しやすかった。また、説明だけでなく、改善するための指摘があり、理解が深まった。

◇最初は聞き慣れない言葉が多く、理解が難しかった内容も、講演の度に理解が深まっていく。自分の身につくまで繰り返し学びたい。

◇ドキュメンテーション報告では、実際のドキュメンテーションを見ながらのライブ指導があり、具体的なポイントを教えていただき理解しやすかった。

◇研修を受けるだけでなく、自分で(園内で)書いたことで参考になった。

◇各園の悩みや試行錯誤している様子がとても共感できた。

◇初めて研修を受けたのでプロジェクト型保育の詳しい内容を理解できた。同時に難しさも知ったが、考えながら保育を進めることを保育士が楽しめたら理想的だなと思った。

<②の理由>

◇今日初めてプロジェクト型保育についての研修を受けて、難しさを改めて感じた。まだまだ難しいのもっと何度も参加したり、講義を受けて学びたいと思った。

◇ドキュメンテーションライブ指導が書かれた方の思いと北野先生のご指導を同時に聞くことができ分かりやすかった。

◇ドキュメンテーションを見ながら北野先生の指導が聞けて、どうやったら分かりやすいか、頭の中の整理が少しできたように感じる。乳児もあったのでよかった。

◇育ちや発達だけでなく、子どもの試行錯誤の様子や、悩んだ事も書いて良い所や、素材で教材の特徴を知らせる事の重要性。

◇保育の進め方、ドキュメンテーションの書き方など、実際に保育園の話やドキュメンテーションを見たりしたこと、より具体的に何が大切なのかなどがわかりやすかった。

◇可視化することは難しいと感じてしまうが、普段の保育を振り返るよい機会になると感じた。

◇他園のドキュメンテーションを見ることで、自

分の園で同じ活動をしていた場合、自分たちだけでは気づけなかった育ちなどが知れてよかった。

◇北野幸子先生の「これからの保育・乳児教育」の話は、具体的であり、かみしめながら聞くことが出来た。育ち合いの大切さもわかった

◇去年から講演を聞く中で理解していた部分もあったが、改めて理解・再認識したところもあった。また更に難しさを感じることもあった。

<③の理由>

◇私自身がドキュメンテーションのスタートラインに立ったばかりなので、ただただ「こんな書き方もあるのか」など考える事が多かった。まだ理解にいくまでは難しかった。

◇自分自身で公開保育の内容を直接聞き見せてもらい、又ドキュメンテーションを見せてもらい、自分の園にはない遊び発見を学べた。

◇ライブ指導して頂きありがとうございました。子ども主体の保育をしていく中で、何が正しいのか、理解不足もあり分からない。指導を統一してほしい。

<④の理由>

◇初めての内容も多く、保育の質の深さには素晴らしいと思った。でも細かい部分が多くわからないことがあった。

<⑤の理由>

◇今回の報告会、ご指導を受けて、余計に分らないことが増えたように思う。以前は、成長したような気でしたが、何が正しい成長なのか分からない。じゃあ今まで見てきてもらったものは何なのかと思う。

(2)今年度、研修を受けての感想等ありましたら、お書きください。

◇自分の足りない点、苦手なことが見えてきた半面、どうしていけばよいのか自分の方向性が認めていけない部分も出て、実践力の弱さを感じたりした。

◇2度めの研修。前回より、日々クラスの先生の保育の様子を見ている中で、より内容が理解できたように思う。日々クラスの先生の保育の理由という行動がこのプロジェクトに基づいていることが伝わってきた。

◇言葉の大切さを改めて感じた。子ども達が発した言葉をもらわず聞きとろう。自分の声かけはどうか。子どもに否定的な言葉をかけていないか。子どもが考える前に答えを言ってしまうてはいないか、意識した1年だった。

◇北野先生の研修を受けさせて頂くと、子どもの興味・関心を発達捉えた保育士の関わりにより、豊かな体験を通して、達成感を味わうことが大切なんだととてもよくわかるが、実践の場では、いろいろありすぎて気付いてあげられないことも多いのが反省。

◇プロジェクト型保育の研修を受けるにあたり、それまで個々が良いと信じる保育をしてきたように思うが、統一した保育がされるようになり2~3年前の子どもの様子とは、随分違うように思う。落ち着き、じっくりと考えている。

◇グループワークの形式など、内容も様々に工夫していただき、自分で考えながら学ぶことができた。

◇研修を受ける度「なるほど、そうしたらいいのか」と思っても、実際保育したり、可視化し

ても、これでいいのか?と悩みばかり。でも、いろいろ教えていただいたのが嬉しかった。

◇プロジェクト型保育の報告やドキュメンテーション用の保育として作ったものになってしまった。プロジェクト型保育を毎日の保育への展開は難しい。保育について話し合う雰囲気づくりを園で作っていくところから始めなければならない。

◇これまで何年も保育士としてやってきたことを可視化することがなく保育してきたが、可視化することで自分の保育を振り返る機会となり、又これからの時代の子どもたち、保護者に対して、どんな保育が必要となってくるのかを考えることができた。

◇何をどうしたらいいのか探り探りな感じのドキュメンテーションが、随分分かりやすく見やすいものになってきたように思う。なんなら欲も出てきて、保育を見直す時間が増え、まさに質の向上

◇プロジェクト型保育に持つていくことにより、子ども達の個性や発達を、より広げることができ、保育士も成長できることがよくわかり勉強になった。他園の様子もよくわかり、よかった

◇研修を受けて、内容や書き方、子ども主体の保育をするなど理解しつつはあるが、研修を受けるごとに悩みも増え、分からなくなる。

◇研修=大変と思うが、自分が受けられるということが幸せだと思う。

◇多数回に渡り、継続して研修を受けさせていただき、一度ではわからなかったことも、日常の保育と照らし合わせて発見することができた。

(3)来年度の研修についてご意見がありましたら、お書きください。

◇今年度と同様、他園のドキュメンテーションや、保育園の見学等させてもらいたい。

◇もっともっと色々なドキュメンテーションに触れる機会に参加し、見ている人に伝わりやすいドキュメンテーションが書けるようにしたい。

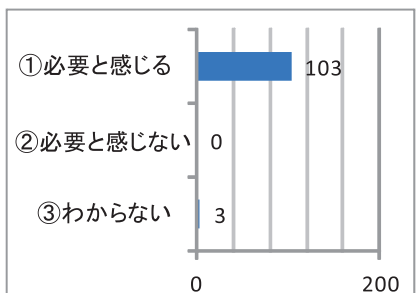
◇公開保育は続けてほしい。

◇保育者は、日々子どもがケガのないように見ることで必死で、これ以上負担の増えるような研修はどうかかなと思う。

◇各園、保護者に今の保育を理解してもらい、保護者をまきこんでの保育にどう働きかけていくのを知りたい。

【保育に関して】

(1)子ども主体の保育、子どもの興味・関心を起点とし、保育士との相互作用の中で展開していく保育について



<①の理由>

◇自分で考えて遊ぶ子が増えてきたように思う。今まで保育士に頼る子が多かった中で、変化が出てきたので必要なのではと思っている。

◇本当の意味で子どもを大切にしている保育だと思う。

◇子どもの興味・関心から起点したことにより、子どもの積極性、満足感、集中力が増すと感じる。これが主体的な姿になっていくだろうし、自己肯定感も高まると思う。

◇こちらが与えてばかりでは、子どもが考えたり見つけたりする機会を少なくしてしまうと思った。子どもが発見したことを見つけてあげて、そこからの幅を広げて展開してあげられることが必要だと感じた。

◇今年度から、朝遊びの時間を長くしたり、保育士主導型から子ども主体の保育に変えたいと努力し、少しずつだがその変化(子ども・保護者)を感じているので。

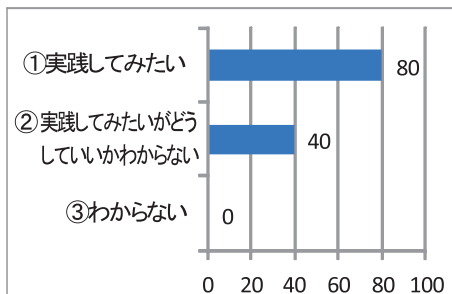
◇のびのび遊び、生活する中で大きく成長し、たくさんのことを学ぶと感じます。興味があることは、学びのきっかけとなるので保育にどんどん取り入れたい。

◇今の子ども達には絶対に必要と思う。集団だからこそ学べること、育つことがいっぱいあると思うから。

◇最近の子供達は言われないと動けない。言われないとできない。指示待ちの子が増えてきているので、自らが興味関心を持ち、心を動かし、自分で考え、行動できる子に育てていく必要があると思う。

◇子ども達がやりたいと思うこと、興味・関心が増えて表情も豊かになった。子ども同士での相談が増えている。そのような姿は大切だと思ふから。

(2)子ども主体の保育、子どもの興味・関心を起点とし、保育士との相互作用の中で展開していく保育を実践してみたいと思われませんか？



<①の理由>

◇子どもの個性や発見、子どもの成長と共に自分も同じように成長し、新しい考え方を身につけ、より保育を楽しみたいと思った為

◇現在行っている保育が十分だとは思わないが、実践する中で子ども達の変化を少しずつ感じているので引き続き取り組んでいきたいと

思う。

◇今まで当たり前にしてきた保育を変えることは、本当に難しいことであるのを経験している。キーワードは、集める保育から集まる保育へとを基本におきながら、日々頑張っている。

◇0歳児は難しいと思っていたが、研修で学んだ事を改めて整理してみると、決して難しい事ではないように思う。

◇それが理想ではあるが、難しいこともある。どこまで子どもの意見で保育を進めるか、そこに保育者の意図、育てたいことを入れていけるのかわからないこともあるが、保育の基礎として心にとどめておくことは大切だし、できると思う。

<②の理由>

◇他園や他クラスのドキュメント等見せて頂くと、取り組んでみたい思いはあるが、力量不足があり、どう展開していくのか、年間やその時期ごとのつながり、連続性の持たせ方など、実経験が少なくイメージ出来にくいなど悩むため。

◇子ども主体と頭では分かっているが、実際自分の行動や声かけ、関わりが正しいのか、子どもにとって良いことなのか悩む時が多い。

◇すべてそのような保育をというのは思わないが大切なことだと思う。先生の話にもあったように両方のいいところを取り入れて保育していきたいと思う。

◇実践してみたいとは思いますが、園のやり方もあるし、勝手にできる事でもないで・・・。

(3)実践するにあたってどのようなことが必要だと思われませんか？

◇園外研修また園内研修。いろんな可能性のある保育だと思うので、日々の保育の実践研修のつもりでいろいろな保育士の方と意見交流し、日々チャレンジしていきたい。どうしても1人の意見だと迷ったり悩んだりしがちなので。こんなのは？こんな見方もある・・・等。

◇保育士のとりあえずやってみようと思う気持ち。

◇職場での意思統一、上司の理解、職員間担任間の意見交流、勉強会。勉強する機会、時間。

◇自分ひとり以外の視点をもつこと。チームで保育をすること。スタッフ間の育ちなど自分の保育力を高める。技術、発達についてetc. 保育を計画すること。

◇職員間の信頼関係、意思統一、知識と技術の共有(身に付いている職員が、そうでない職員に引き継ぐ、見せていくこと)。

◇保育士間で、保育の振り返りをする事、勉強することが、ますます大切になってくると思う。そういった時間を勤務時間の中で作り出す方法を考えていくことが必要。

◇子どもを見る目、保育士の力量。

◇保育方針を変えていく必要がある。

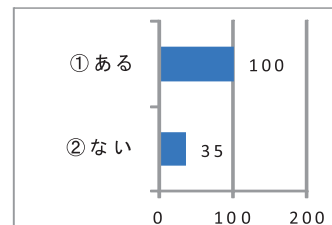
◇発達に対する基礎知識の認識、意識付けをするためにも定期的な勉強会は欠かせないと思う。親への意識の働きかけも必要になってくると思う。

◇時間、精神的な余裕、行事の見直し、自分のしていることを人から認めてもらえること。(否定ではなく、ほめてもらえること)

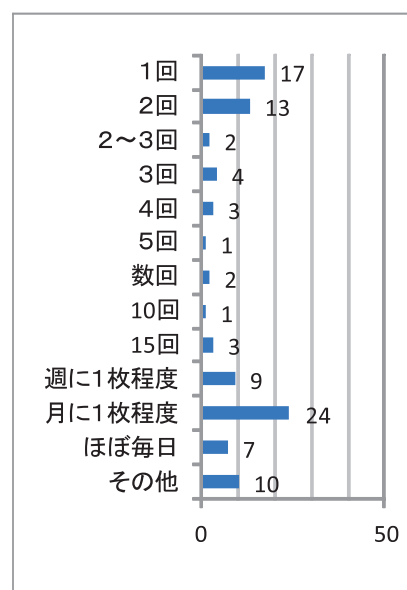
◇クラスの担任間、園全体でカンファレンスすること。

【ドキュメンテーションに関して】

(1)今までにドキュメンテーションを書いたことがありますか？



(2)「ある」に○をつけた方はお答えください。それは何回ですか？



※その他回答内訳

週2回 :1 週2~3回:5
月3~4枚:1 2か月に1回:3

(3)自身で書いてみて、または他の先生のドキュメンテーションを見て、書き(見)始めた当初と現在ではどのような変化がありましたか？

<◎ドキュメンテーションの変化

(写真の撮り方、書き方等) >

◇子どもたちの視線の先を意識している。できなかったより育ちにポイントを置いたり、子どもたちの声を書くようにしている。しかし文字が多くなるという課題があるので勉強していく。

◇初めは視点が定まらなかったが、何度か書いているうちに慣れて自分なりに視点が絞れるようになった。また研修により具体的に書くポイントを教えてもらい書きやすくなった。

◇最初は子どもの様子を伝えようと考えていたが、徐々に伝えたいことを少し深く考え、又、ポイントをしばって伝えるように心がけた。

◇「○○みたい〜」「うれしいな」などと、子どもの気持ちを代弁したつもりになって、言ってもいないのに書いてしまっていた。事実が必要だとわかった。

◇出来ることにこだわっていた→プロセスを大切にしている。カメラを持ち歩いている時に

限り、いい場面があり撮り逃すことがよくある！！

- ◇毎日の帳面の中身もポイントを押さえると変化する。
- ◇様子だけでなく、その中で何を学んでいるのかを記入するようになり、写真も子どもの育ちがわかる撮り方になってきた。
- ◇できるようになったこと等だけを見るのではなく、プロセス(ここで困ったけど、その時、どういう関わりがあった等)が大切。
- ◇書き方等ははじめは職員によって様々であったが、園として統一した。
- ◇たくさんの文字を書いていたが、読んでもらえず、写真ばかりに目がいっているようだったので、子どもの声を中心に書くようにした。
- ◇写真を撮るポイントが少しずつわかり、保護者にどんどころを見ていただきたいかがよく分かるようになってきた。子どもの姿がよく感じられるようになった。
- ◇ドキュメンテーションを書くための保育をあえてしなければの思いがあった。
- ◇日々の保育の中で保護者に伝えたいこと、園生活の中で経験したことなどどんな学びがあったのかを伝えたいという思いから書くようになった。

<◎保育士の変化(子どもの見方、かかわり方等)>

- ◇保育士主導でなく、子どもの興味・関心を捉え、思いを引き出す関わりを心掛けて、見守ったり、見守ったりする姿が見られるようになった。
- ◇言葉のかけ方が変わった。～したらどうなるかなあ？と問いかけるようにしたり、子どもの声を意識して聞くようになった。
- ◇子どもの発見、友達同士での気づきを、全体に伝えあうこと。保育士が悩む時は、子どもに素直に聞いてみる。予想外の答えが返ってきて、遊びが面白い方向へ行くことも多い。
- ◇出来上がったあとは、クラスの先生にも見ってもらって、感想をもらう。
- ◇子どもを見ている人と見ていない人との関わり合いの違い、文章の違いがはっきりわかる。
- ◇今まで聞き逃してしまっていたような子ども達の言葉も、一言一言丁寧に聞くようになった。そこから子ども達も発見を伝えてくれる姿が増えた。
- ◇クラス担任同士が共感し合い、保育の見直しや、見通しを立てて、保育に関わるようになってきた。他のクラスの様子もわかるようになってきた。
- ◇完成を目指さず(完成はさせたいが)過程を見る視点を持つようになった。一人ひとりの様子を振り返ることが増えた。

<◎保育実践の変化(行事、保育環境等)>

- ◇教材など、子どもの興味・関心を予測しての準備など、広範囲で考えるようになった。
- ◇(見て)特に製作は同じものが並ばず、つくりたい気持ちを大切に作るようになった。まだまだだが、セルフや動きを覚えて発表する劇から、自分でイメージを持ち、どう表現したいか…つくる劇に変わってきた。
- ◇ふれ合い(親子)運動会のような行事をしていたが、子どもに無理があったことを反省して

- やめ、子ども達の興味のある自然物を使った園庭遊びに参加してもらった。
- ◇保育士指導が身に付いているので、主体保育へ変えていく難しさを日々感じているが、他職員と話し合い勉強している。
- ◇運動会、発表会(行事)では、かわいさ、きらびやかさ重視から、日頃している保育・成長したこと、興味を持っていることを披露した。
- ◇一年の見通しを持って計画していくことの大切さを感じた。
- ◇行事をただ行うだけでなく何故この題材なのか、子どもの成長や発達から考えていこうとする姿勢が変わってきている。
- ◇行事にも、子ども主体となるように考えてきた。発表会の進め方、取り組み方も、園全体で話し合い、子ども達の興味・関心のあるものから、進めていった。

<◎保護者の変化(園への理解、関心等)>

- ◇"子ども"から子どもの周りのこと(環境、興味があること)を気にしたり、子どもが作ったものも出来栄より経緯をきいてそこを褒めてくれるようになった。
- ◇ドキュメント(テーション)に対する感想を言ってくれる方が増えた。行事で、本番で思うような感じだけでなく、練習では違ったということが知れて良かったと言われる方もおられた。
- ◇(見て)発表会のあと、よくできた、という声より、具体的にほめて頂くことが増えた。作ったものを持ち帰る時、工夫したことに着目される方が増えた。ゴミになるでかなん、という声を聞かなくなった
- ◇保育について尋ねたり、話しかけてこられる方が増えた。
- ◇子どもの思いに寄り添って関わってくださる方も増えたが、まだ行事で見世物のようなものを期待されたり、主体的の大切さを理解されていなかったりもする。ドキュメンテーションの貼り出しで以前よりも関心はある。
- ◇表面上では聞いて下さるが、まだまだ伝わりきれしていない。少しずつ…である。ドキュメンテーションからは、特に一部の人にしか伝わっていない。
- ◇見栄え、出来ばえよりも、子ども主体の保育を少しずつ伝えているので、少しずつ理解していただけているようである。

(4)ドキュメンテーションを見た保護者や子どもからの反応やエピソード等がありましたら、お書きください。

- ◇ドキュメンテーションを見ていただいたことで子どもの話(話し掛け)に理解が深まり、褒めたり、保育所での活動を家でもして下さったりする保護者があった。(クッキングや製作等)
- ◇保護者の多くが子ども達のそれまでのプロセスに興味や期待感を持って、行事などの当日にのぞんでくれるようになってきた。アンケートの感想から伝わってくる。
- ◇保育所での話をあまり家で話さない子は、ドキュメンテーションを見て、会話のきっかけや様子がわかる。家での遊びを見て、保育所での今の遊びがよくわかるようになり、子どもに合わせる気持ち、ゆとりも出てきた。
- ◇自分の子どもだけ見ている保護者が誰と

- 遊んでいるのか何を遊んでいるのかに興味を持って見られるようになり、その後、保育参加したいと言われ、保育参加された。
- ◇母より(ドキュメンテーションを見ての感想)子ども達の発見や触りたい気持ち、その手触り、友達との関わり、嬉しい、悲しい、色々な経験をさせてもらっているのがよくわかる。子どもと関わるときも、こういう見方、接し方をすれば良いんだなと参考になる…。
- ◇月一回出しているおたよりを見て頂き、子どもの育ちやつけた力がよくわかったと毎日のお帳面で感想をいただいている。
- ◇子どもの行動が保育とつながってのことだと評価する反応が寄せられるようになり、一体感を感じる。
- ◇子ども達は、ドキュメンテーションを見て「あーこれ、おもしろかった。」「またしよう」「次は〇〇でしてみよう」と子どもなりに振り返り、次へ繋げる姿が見られた。
- ◇保護者の方は「園ではいろんな経験をさせてもらっているんですね」や「こんな風にこの子も遊べるんですね」など、日々の様子を知ってもらったり、ドキュメンテーションを通して、親子の会話、コミュニケーションも増えたように思う。
- ◇園の玄関に全クラスのドキュメンテーションを貼り出す場所があり、はじめは自分のクラスだけを見られる方がほとんどだったが、だんだん他のクラスのものも興味を持たれ見られる方が増えてきた。子どもは自分の興味を持ったものがピックアップされとても喜んでる。
- ◇様々な場面のドキュメンテーションを提示しはじめ、「言葉あそび発表会」12月の後のアンケートに発表会のドキュメンテーションも見かけたとの声があり、うれしかった。
- ◇保育園で制作したペットボトルけんだまを家でも作ろうとしていた子がいたが、お母さんは何を作っているのか、何が必要なのかわからなかったようで、ドキュメンテーションを見て、何をしようとしていたのか理解でき、さらにその遊びにどんな育ち・学びがあったのかが分かりやすく、よかったですと言われた。
- ◇毎日、降園する際に、保護者と担任が話をするので、1日の様子を知ることができるが、ドキュメンテーションの写真をみることで、より詳しく知ることができ、表情や様子が見られ、「こういうのは良いですね」という言葉を言われた。
- ◇登園、降園時、子どもが「〇〇(自分の名前)」と言いながら指さし、保護者が「〇〇写ってるなー。□□したんやなあ。」「楽しかった?」「良かったね。」等、ドキュメンテーションを見ながら会話する姿が見られ、幼児はそのドキュメンテーションについて、保護者に伝えようとする場面も見られた。
- ◇子ども達が楽しかったことや、頑張った達成した事など、家庭でも話す機会が増え、保護者と共に、子どもの成長を感じられていることが嬉しい。